

府中市健康地域づくり審議会
第19回熟年元気づくり分科会 報告書

1 分科会の概要

- (1) 日 時：令和元年8月29日（木）13時30分から15時00分まで
- (2) 場 所：市役所2階第一応接室
- (3) 出席者：宮 口 英 昭（分科会会長） 河 本 幹 男（分科会副会長）
重 森 由 枝（分科会委員） 藤 本 命 壮（分科会委員）
前 原 裕 吉（分科会委員） 守 屋 綾 子（分科会委員）
- (4) 欠席者：谷 秀 樹（職 権 委 員） 樽 好 美 子（分科会委員）

2 概要

- (1) 開 会
- (2) 分科会会長あいさつ
- (3) 議事

①令和元年度熟年元気づくり分科会の活動について

●関係資料の説明

事務局から「政策指標・重点項目の概要について」について、資料により説明を行った。

②令和元年度の取り組みについて

ア．生きがい創出事業補助金

●関係資料の説明

事務局から「生きがい創出事業補助金」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- サロン等の既存の補助制度と重複しないように整合性を図ることが必要ではないか。
- 月4回の活動は負担感があるのではないか。
- 地域のニーズがあるところへ直接話を持っていく事も効果があるのではないか。

イ. プラチナ大学

●関係資料の説明

事務局から「プラチナ大学」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- プラチナ大学にこれまで参加した人を集めて、地域の課題等を話し合う場を計画してはどうか。
- リーダーをどのように育てていくかが必要。
- プラチナ大学についてまだ知らない人が多い。
- 50代くらいの世代が参加しやすい時間設定をしてはどうか。

ウ. 高齢者と親子が関わる多世代交流事業

●関係資料の説明

事務局から「高齢者と親子が関わる多世代交流事業」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 現在取り組みを考えている地域に事業について相談してはどうか。
- 地域でのつながりをどうやって作っていくか大事になってくる。
- 高齢者がやってみたいと思うことを相談できることが必要ではないか。

③次年度施策の方向性について

●関係資料の説明

事務局から「生きがいライフに向けたニーズ把握」「高齢者と親子が関わる多世代交流事業」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 70代、80代がものすごく元気に活動されているが、60代の方が地域に出て来ていない。
- 生きがい窓口をNPOが継続してやるのは難しい部分もある。
- 地域に還元していく意識づくりが必要ではないか。
- 最初から人間関係を作っていくのは難しさもある。地域に関わるきっかけとして、知り合いからの誘いがあれば入りやすい。

(4) 閉会

事務局のまとめとして、「生きがい創出事業補助金」、「プラチナ大学」、「高齢者と親子が関わる多世代交流事業」へのご指摘・ご意見等を期中報告としてまとめ、審議会への報告事項とする旨を述べた。

河本副会長から、「高齢化率の方も上がっており、高齢者が多くなっているような状況の中、地域のやりたいことを手助けしながら、元気に地域、世間に貢献できるということが一番の最終的な目標と思っている。」と挨拶があり、閉会とした。